

発行者 広島県山県郡千代田町大字有田 千代田町中央公民館グループ
 とんがらしとその仲間たち
 会長 内藤幸康(独身・28歳です)

とんがら新聞

ようこそマルタへ

いよいよ、待ちに待った「マルタ ヒット&ラン」コンサートの幕が開きます。チケットを買われて以来、この日を心待ちにされていた方々も、大勢いらっしゃることと思います。が、私たち千代田町中央公民館グループ「とんがらしとその仲間たち」にとっても、例外ではありませんでした。

コンサートの日程が正式に決まったのが、昨年12月7日。その日以来、今日この日の待ち遠しかったこと。

初めての協賛依頼や、ポスターデザイン・ステージセット製作、それに忘れてならないチケットの販売など、スタッフ全員、楽しい充実した日々を送ることができました。

初めて、マルタコンサートを行なったときは、チケットを売りに歩いても、「?」、としか返ってこなかった返事も、2回目、そして今回3回目を迎えて「!」とか、はげましの言葉をいただき、「やってよかった」「本当に続けてきてよかった」そう思っています

特に、今回3度目のコンサートを開くにあたっては、いろいろな方々から、協力や激励をいただきました。もちろん、マルタ本人はじめ、ヒット&ランのメンバーのみなさんの協力があることです。

さあ、マルタコンサートの開演まで、あともう少し。今夜もきっとすばらしい演奏を、聞かせてくれるはずです。どうぞ、今夜のコンサートを、ごゆっくりお楽しみください。

本日は、ご来場ありがとうございました。

千代田町公民館グループ
 とんがらしとその仲間たち
 会長 内藤 幸康



昨年のステージから

今日のマルタ

- 9:50 羽田空港へ集合。
- 10:25 全日空677便で広島へ。
- 11:55 広島空港へ到着。
- 12:10 休む間もなく、マイクロバスで千代田町へ。(高速道で〜す)
- 13:00 千代田町で、待ちに待った豪華な?昼食です。
- 13:45 開発センターへ到着。
- 14:30 リハーサル開始。
- 17:00 リハーサル終了。
- 19:25 ステージそでにスタンバイ。
- 19:30 オンステージ

※ステージ終了後、「とんがらしとその仲間たち」と恒例の大打ち上げ大会。

M A L T A コンサートの



「マルタに気に入ってもらえるかしら？」
(ステージセットのペニアを切る作業風景。1987.3.20、中央公民館にて)

私たち「とんがらしとその仲間たち」は、千代田町中央公民館グループで、千代田町を中心とした若者80名が、コンサートの企画を行なっています。そんなわけで、コンサートに関しては、全て素人。コンサートの幕を開けるまでには、いろいろな準備をして、当日を迎えるのです。

ほんの一部を紹介しましょう。

■誰をよぼうか、どんなコンサートを

年間1~2回のペースで、コンサートを開きますが、次のコンサートの内容・ミュージシャンの決定は、ケンケンガクガク。なにせ、自分の好きなコンサートが、賛成多数で実現するのですから。

■マルタに決定

マルタが、年を追うごとに忙しくなるため、昨年のコンサートは、1年前に決定しましたが、今回の最終決定は昨年末。遠方のため、ほとんど電話で打ち合わせますが、肝心なツメは、上京して、直接交渉。

■専属デザイナー(?)の番です

ポスター・チラシ・チケットと、PR「三種の神器」は、すぐに必要。とんがらし専属デザイナーが、メンバーにせかされながら製作。

(本人談: 予算上、白黒に限定されるのが、かえってむづかしいんですよ。出来上がりはいかがですか…。)

■さあ、チケットの販売

メンバー1人当たり約10枚。これがノルマ?

新入会員には、暖かい思いやりで、可能な枚数でOK。友人・知人に、手売りに出かけます。「マルタ?」、1回目の冷たい反応に比べ、3回目はずいぶん楽でした。

■リクエストカード大作戦

人気ラジオ番組へは、「リクエストカード」をメンバーが手書き。曲はもちろん、マルタ。コンサート情報も一筆必ず添えて。千代田町で、たびたびお世話になったDJさんには、あらかじめ「お願い」を…。

とにかく、お金はないんだから、スポット放送なんてできません。タダで利用できるテレビ・ラジオ番組に片っぱしからアタックです。

■WE LOVE プレイガイド

若干の手数料を出すのは当然として、プレイガイドさんの力は絶大。これまでの広島市内に加えて、五日市・三次まで拡大。お近くの方、今後もご利用くださ〜い。

遠方の方のためには、今回から、「郵便振替方

幕が開くまで

式」を導入。郵便局窓口で送金可、手数料不要です。ご利用いただいたみなさん、すぐに、チケット届いたでしょ。

■マルタとキャビン

マルタ作曲による「キャビンのコマーシャル」ご覧になりましたか。そんなことから、日本たばこ産業株キャビン担当者に、メンバー6人で直接交渉。今夜、素晴らしいステッカー・ポスターを、みなさんにプレゼント。よかったですネ。「キャビン」もよろしく!

■専用バス 出発

「コンサートへは行きたいけれど、帰りのバス便がないじゃー。」という声を、第1回のマルタコンサートから耳にしました。そこで国鉄広島駅旅行センターへお願いし、広島駅~コンサート会場往復チャーターバスを確保。

メンバーが「ご案内」役として同乗しましたが、バスでのおいでのみな様、高速道路乗り入れチャーターバスの乗りごちはいかがでしたか。

■ステージにマンハッタン出現

昨年のステージセット、覚えておられますか。あのマンハッタンのビル群の窓は、1つ1つを切りぬいて造ったのです。今は、あのビル、プロのステージに使われているとか…。

今年は、また一味違った手づくりのマンハッタンが、3尺前にせり出したステージに浮かび上がります。こうご期待!

■ビデオはおまかせ

千代田町中央公民館に「AV同好会」というグループがあります。会員はほとんど「とんがらしとその仲間たち」。

コンサート本番では、ビデオカメラ4台、ミキサー2台(音と映像)がフル稼働、マルチタイム編集もやってのけます。

■音と光はもちろんプロ

いくら手造りのコンサートとはいっても、音響(PA)・照明だけは、広島のプロに発注。一千万円を越える機械を投入。4年前は、「PA・照明に、そんなに金をかけられない」と無理をお願いしていました。今では、「それなりに」と思っているんですが…。「それでも、千代田へはずいぶん安く出しているんですよ。」そんな声が聞こえそうです。

■チケット何枚売れた?

コンサートの収入は、チケット売り上げのみ。今何枚売れているか、当日までに完売できるか。コンサートの成功・失敗は売上で大きく作用します。コンサートの1カ月前から、メンバーとプレイガイドに問い合わせ。「今の売り上げは?」「あと何枚売れる見込み?」。

今回のように、数日前からはほぼ完売とわかった時のうれしさは、メンバー一同の喜び、最後の仕上げに一段と熱が入ります。





「この打ち上げから、マチづくりは始まるのです」
 (昨年のマルタコンサートの打ち上げ風景・1986.3.29)

「マチづくり」「ムラおこし」?

「とんがらしとその間たち」がコンサートを始め4年目、前身の「とんがらし」を加えると、もう7年目に入ります。

これまで、いろいろな方々から取材を受けたり、こちらからお願いに行ったこともあります。

その中で、必ず出る話題が「何でマルタなのか」、「マチづくり・ムラおこしのためなのか」ということです。

私たちの、マルタに対する情熱は、マルタの音楽が好きだから。また、マルタ自身がそれ以上に答えてくれるから。ただそれだけです。

メンバーも80人を越えると、中には音楽にはさほど興味を示さない会員もいます。

しかし、千代田町青年連合会でのチームワークと、自分のために、何か新しい試みにチャレンジするという、そんな気持ちが、メンバー全員に生きているのだと思います。

ポスター貼りに、町外へマイカーで出かけても、

誰も、ガソリン代や、高速料金なんか請求しませんし、もらおうとも思いません。チケットを売っていると、「まあたいへんじゃね。よう頑張ってるじゃね」と、励ましの言葉をいただきます。ほんとうにありがたい言葉だとは思いますが、but 誰のためにやっているんじゃない。好きだから出来るんです。映画が好きなのが、映画に行く、スキーを楽しみたい人が、雪山に車を走らせるように。チケットを売って、ポスターを貼り、夜中2時くらいまで、ステージセットを作るんです。

「マチづくり」・「ムラおこし」なんて、それだけを目ざして頑張っても、失敗した時は、何も残りません。私たちの活動のあとから、「マチづくり」・「ムラおこし」が、少しづつ、少しづつ、ついて来るのではないのでしょうか。

メンバー一人ひとりが、「無理せず、出来る範囲で楽しみながら」これがモットーですかね。

あっ私が出た

—テレビ・ラジオにあなたも出演—

昨年の「マルタ・ヒット&ランコンサート(第2回)」の準備から打ち上げまでが、NHKテレビ「山陰さん 山陽さん」(30分番組)中国5県に放映され、大きな反響を呼びました。

今年のコンサートも、準備段階から、放送局各社が、取材に入っています。各社とも、事前の打ち合わせで充分話し合い、お客様に迷惑がかからないよう注意しますので、ご協力ください。それぞれの番組の放送日は、次のとおり。

ぜひ、見て、聞いて、今夜のコンサートの感動を、もう一度!

ON AIR

★ラジオ

NHK第1 4月16日(木) 午前5:31~5:45
「今日も元気で」(全国放送)
イベントで村おこし

NHKFM 4月4日(土) 午後5:00~6:00
「FMリクエストアワー」
マルタライブIN千代田

★テレビ

広島ホームテレビ

4月12日(日) 午前8:00~8:30
(再)4月18日(土) 午前6:00~6:30
「ふれあいシリーズ」
今年もMALTAがやってきた
~千代田町~

プレゼント

豪華賞品が当たるアンケート

千代田町中央公民館グループ「とんがらしとその仲間たち」では、皆様のご意見等を参考にして、より充実したイベントを企画したいと考えています。

お配りしたアンケートにご記入の上お帰りの際、受付に投函して下さい。今後のコンサート情報をお送りします。また、アンケートに記入していただいた方の中から抽選で、次の豪華な賞品が当たります。

★キャビンTシャツ.....5名様

★キャビンヘルメットデジタル時計...30名様

なお、当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

津軽三味線 高橋竹山

いのち 竹山 笑 千石太鼓

30分・7時開場・7時30分開演
千代田町開発センター
前売券1,300円・当日券
お買い上げ千代田町中央公民館

反よ夜明けまえの闇の中で...

岡林信康

ベアナックルコンサート
チヨダ

オープニング・千石太鼓

9月15日(日) 6時30分開場・7時開演
千代田町開発センター
前売券1,500円・当日券1,800円
主催 とんがらし・その仲間たち
お問い合わせ! 千代田町中央公民館

"とんがらしと その仲間たち"

—コンサートの足あと—

- 1984.6.30 高橋竹山 津軽三味線演奏会
- 1984.9.8 広島修道大学ハワイアン部
25周年記念コンサート
- 1985.2.9 マルタ・ヒット&ラン(第1回)
- 1985.9.15 岡林信康コンサート
- 1986.3.29 マルタ・ヒット&ラン(第2回)
- 1987.3.28 マルタ・ヒット&ラン(第3回)

過ぎし日の愛 かたちと
あしたへの夢 こころが響き合う
千代田

イベントへどうぞ!

●4月11日(土)・12日(日)

平安の匠(いのち)を語る古保利(こおり)の仏たち
「古保利薬師春まつり」

○国重文、本尊薬師如来ほか

本尊薬師如来ほか12体の国指定仏像と、12神
将県内唯一の仏像群と、千代田の文化活動をお
楽しみください。

●5月17日(日)～24日(日)

心にスケッチを/
「たいどう彫刻村写生大会」

ピクニック気分で、春の花と、彫刻群を楽し
もう。

●6月7日(日)

平安絵巻
「壬生の花田植」

○国指定、平安田植絵巻と郷土芸能合同祭
(神楽・花笠踊りなど)



あ・り・が・と・う・!!

今夜のコンサートを開催するにあたり、日本た
ばこ産業(株)・国鉄広島駅旅行センターの協賛、千
代田ショッピングセンターサンクスの協力をいた
だきました。

テレビ、ラジオ各社、中国新聞社・日刊スポー
ツ社・広島タウン誌などなど、私たちのファイト
だけではできない面をカバーしていただき、本当
にありがとうございました。

私たちにできるお礼といったら、みなさんに、充
分満足のいくコンサートを楽しんでいただくこと。
それだけかもしれません。

お礼がき

私たちの町に、新しい力が、語り伝えられて
いるのは、今思えば美しく楽しいものな
らなことをしよう。

でもその時代に生きて先人達は、その
営みの中心を授けてきて磨き次の
人へと手渡して来たのです。

決して「名を残す」ことをめざし「打算に
埋れる」ことをなく山里に生る一人の人
としてのドラマを仕上げて来た気がある
のです。

それが今 自他共に認めるところ「郷土
芸能の町」を築き上げたのだと思えます。

「とんがらし」とその仲間たち、おもしろい
活動していると評価される時、先人の
情念を感じないわけにはいかなのです。

時は、行く川のごとく流れ過ぎて、
ほておけば、形のない夢をただ夢として
消してしまいます。

できれば 私たちの町のこころを織り
ひながら、私たちのらしい、^と歴史を築きたいのです。